

信愛館だより

Vol.132
2020年1月号

発行/ケアハウス信愛館
近江八幡市北之庄町492-2
TEL/0748-32-2220
FAX/0748-33-7555
http://www.shinaikan.com
Mail/vories@zb.ztv.ne.jp

みよ、兄弟達が一つになって共に住むことは、
（詩篇133の1）
なんといいしあわせ、なんといい楽しさであろう

「感謝」

社会福祉法人近江兄弟社地塩会
理事 山村 徹

新年明けましておめでとう御座います

さて、「人間、みんな裁判官 他人は有罪、自分は無罪」-本願寺のお坊さんのお話です。

自分自身は決してそうではないと思いたい一句ですが、改めて自らのこれまでを省みると、自分の都合や身勝手さで他人を裁いてしまう心の弱さがあるのだなと気づかされ、恥ずかしい気持ちになります。家庭でのちょっとした行き違いも、それ以外の日常の些細な場面でも、つい「あの人が悪い」となってしまうものだからです。

“私という存在は、常に人を裁き、そのくせ、人から自分が裁かれることを極端に嫌い、自分の中に問題を見出そうとはせずに、いつでも他を問題としているのではないのでしょうか。お坊さんのこの問いかけは、日常のごく身近な自分のことに数多く当てはまるもので、同時に報道で見るような恐ろしい事件も、国家間の争いでさえも、その根底には「他人は有罪、自分は無罪」という身勝手な思い込みがあるのだろうと思うに至ります。そして、この「自分は正しい」という思い込みは度を過ぎると、実に多くの弊害をもたらします。身勝手な言動を行うこと、周囲に対する愚痴が多くなること、協力者からの支援や恩恵を当然のことのように思い込むこと、更には自分に何らかの力が備わっているかのような錯覚にさえ陥ってしまうこともあるそうです。

中国の古典である「菜根譚」には、「己を省みることができる者は、すべてを人生の良薬にできる。他人の責任だと押しつける者は、気持ち自体が自らへ向かう刃物になる。反省することは正しい道を進むことにつながるが、他人の責任にすることは諸悪の根源になる。」とあります。

家族や友人をはじめ、自らを支え助けてくれる多くの人達との間に良好な関係を築くためにも、何より周囲に対する感謝の心を常に携えておくことは、私たちが穏やかに過ごすための一歩であることは言うまでもありません。

今年一年も自己を省みつつ、皆様とともに温かく豊かな心を持って、楽しく歩んでまいりたいと願っております。

感謝



キリスト教 あいうえお 「ウェストミンスター」

近江金田教会牧師 横田 明典

「ウェストミンスター」という名前をお聞きになったことはありますか？ウェストミンスターというのはイギリス・ロンドンの地区の名ですが、そこにある寺院や宮殿が中心となった地域を指します。「寺院」と書きましたが「ウェストミンスター寺院」は、英国国教会の教会であり、英国国王の戴冠式が行われる場所でもあります。世界遺産にも登録されています。

「ウェストミンスター宮殿」は国会議事堂にもなっているので、テレビなどで見聞きされたことがあるかと思います。

またよく知られている学校のチャイムは「ウェストミンスターの鐘」が元になっていて、宮殿に付属している時計塔（ビッグ・ベン）が今でもその音色を奏でています。

他にもウェストミンスターにまつわるキリスト教関係の事柄が多くありますので、キリスト教にとっては切っても切れない関係にある場所です。

かくいう私はイギリスには訪れたことはありませんが、もし行くことがあれば是非ウェストミンスターに行ってみたいと思っています。

◆ 敬老会（9月18日）



今年の敬老会は
入居者の皆様に楽しく歌をうたう会を
開きました。



◆ お月見会（10月13日）

今年の月見会も恒例の
ビンゴゲームを行いました！



◆ 文化祭 (11月1日)

今年もたくさんの作品を
展示していただきました。



◆ 喫茶ツアー (11月13日)



シャーレ水ヶ浜に喫茶ツアーに出かけました。



◆ 絵本を読む会 (11月17日)

入所者の鶴谷頼子さんに絵本を読む会を開いていただきました。
今回は鶴谷さんに「モチモチの木」の読み聞かせもしていただきました。



◆ 皆で歌いましょうの会 (11月30日)

ゲストの方2名をお招きし、みんなで歌いましょうの会を開催！
楽しく歌をうたった後にはバイオリン演奏もしていただきました。



新年あけましておめでとうございます。
2020年も信愛館での出来事など、たくさん発信していきたいと
思います。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

